

事業報告書

事業の実施状況報告

(1) 流域下水道施設の維持管理

ア 「九頭竜川流域下水道運転管理業務」の受託契約（令和3年4月1日福井県）

- ・対象施設 九頭竜川浄化センター、中継ポンプ場（竹田川、兵庫川、片川、芦原、春江、北潟）
幹線管渠
- ・業務内容 施設の運転操作および保守点検
施設および設備の小規模補修
施設および設備の警備および清掃
汚泥の処理処分
水質および汚泥等の分析
流入水量の計測

イ 流入水量

区分	令和3年度	令和2年度	前年比
全体流入水量	17,450,493 ^{m³}	18,034,698 ^{m³}	3.2%減
1日平均水量	47,810 ^{m³}	49,410 ^{m³}	3.2%減

ウ 市別流入水量

	令和3年度	令和2年度	前年比	摘要
福井市	2,940,662 ^{m³}	3,027,999 ^{m³}	2.9%減	昭和62年 6月供用開始
あわら市	4,313,258 ^{m³}	4,437,764 ^{m³}	2.8%減	昭和59年 7月供用開始 昭和60年10月 //
坂井市	10,196,573 ^{m³}	10,568,935 ^{m³}	3.5%減	昭和57年 7月供用開始 昭和62年 4月 // 平成 元年 4月 //
合計	17,450,493 ^{m³}	18,034,698 ^{m³}	3.2%減	

(2) 下水道に関する調査研究・研修

ア 下水道に関する調査研究

九頭竜川浄化センター場内配管の閉塞に関する調査を行った。

・調査内容

九頭竜川浄化センター場内配管のなかで特に汚泥が堆積しやすい重力濃縮汚泥送泥管内の閉塞状況調査を行い、閉塞箇所、閉塞要因を調査整理して、再発防止に努めた維持管理方法の検討を行った。

イ 下水道に関する研修

県内下水道従事者（官民）を対象に研修会を行った。

- ・研修名 下水道技術研修会
- ・開催日 令和3年12月3日
- ・場所 ユー・アイふくい 映像ホール
- ・研修内容 講演「管きよの維持管理について～調査から修繕・改築まで～」
公益社団法人 福井県下水道管路管理業協会 会長 小林 祐一
- ・参加者数 33名

(3) 下水道知識の普及・啓発

ア 下水道普及啓発用広告の掲載

9月10日の「下水道の日」にあわせて、福井県下水道協会と連携して、下水道普及啓発用広告を福井新聞情報誌 **Fu** に掲載し、下水道の役割を読者にPRした。

- ・掲載年月日 令和3年8月24日
- ・広告掲載者 福井県下水道公社、福井県下水道協会

イ 坂井チャンネル（ケーブルテレビ）による九頭竜川浄化センターの紹介

坂井チャンネル（ケーブルテレビ）による取材を受け、九頭竜川浄化センターの下水処理の説明を行い、その内容が放送された。

- ・番組名 「^{すこ}凄LOCK！」（坂井チャンネル121ch：坂井市内のみ放送）
- ・製作著作 坂井市
- ・放送期間 令和4年2月5日～令和4年2月24日
- ・放送時間 20分間 1日5回放送
- ・番組内容 九頭竜川浄化センターの概要説明
水処理棟、汚泥処理棟、消化ガス発電設備の見学
トイレットペーパー・ティッシュを使った実験

ウ 施設見学者への下水道のしくみの説明と処理場内の案内

見学者にパンフレットを配布して下水道のしくみを説明し、浄化センター内の案内を行った。

＜令和3年度見学者＞	学校関係	1名
	一般	44名
	官公庁	25名
	計	70名

なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年2月26日から浄化センターの大口の見学受入の停止を行っている。

毎年7月に開催している「夏休み水の探検隊バスツアー」について、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催を中止した。

エ 浄化センター芝生広場の利用

下水道事業の普及啓発や浄化センターのイメージアップを図るため、浄化センター芝生広場を周辺地域住民の運動施設として利用していただいた。

・利用期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

・のべ利用者数

6,735名

オ ホームページによる普及啓発

福井県下水道公社ホームページを通して、下水道知識の普及啓発および情報公開を行った。

URL <http://www.fukui-swc.jp/>